

提案の内容及び採否の結果

提案の題名	<p>市民の福祉が増大すること ～学生の皆さんと魅力ある武蔵村山市を再構築しよう！～</p>
提案の内容	<p>超高齢社会を迎えることによる2025年問題で高齢化の深刻さが増し、単身の高齢者や高齢者のみの世帯が増える一方、日常生活や行政手続にもパソコンやスマートフォンを利用したデジタル化が進行しており、デジタルデバイドにより社会から取り残される不安を抱える高齢者がいる。</p> <p>本市において緑が丘地区の高齢化率は一段と高く、村山団地の高齢者は不安を抱えている。市ではデジタル機器の操作が不慣れな高齢者のためにスマートフォン教室が開催されているが、市役所ではなく日常的に利用する場所で気軽に相談できる窓口を設置し、高齢者でもスムーズな手続ができるように、デジタルに不得手な高齢者をサポートする体制づくりを提案する。</p> <p>高齢者に対するサポート体制として、コンビニや大型商業施設等の一部のスペースで、デジタル技術に精通する本市在学・在住の学生の知識を借りて学生ボランティアとして配置し、スマートフォンの操作やネット通販等の各種手続について気軽に相談できる体制を構築する。</p>
提案の効果	<p>大学生のパワーを借りて独居高齢者と高齢者夫婦の世帯に対するセーフティネットを構築し、高齢福祉の増進を図る。</p>
採 否	趣旨採用
採否の理由	<p>御提案の実施により、高齢者の情報格差の解消や市の活性化を図ることが期待できます。</p> <p>しかしながら、トラブル防止のため学生ボランティアが行う支援の範囲を制限することや、高齢者のニーズを把握することが必要となるなど、実現には一定の課題があると判断いたしました。</p> <p>よって、所管課におきまして効果的な実施方法等を調査検討する必要があるため、趣旨採用とさせていただきます。</p>